

カワウによる被害への対策

1 被害地での対策

捕獲・追払い

【方法】

- 猟銃による方法（有害捕獲）
- ロケット花火による方法
- 案山子(かかし)による方法
- 人による見回り(追払い)



猟銃による捕獲・追払い
猟銃には本物の威嚇効果がある
(狩猟免許・有害捕獲許可)

【注意点】

カワウの捕獲・追払いは、漁業被害地で行う。

繁殖地やねぐらで猟銃などによる捕獲・追払いを行うと、繁殖集団を広域に分散させる可能性がある。

飛来の阻害

【方法】

- テグス・ネットを張る



遡上アユを守るため、ネットを魚道に設置
(日野川下流部)



堰堤周辺にテグスを設置(日野川下流部)
見えないものに引っかかることにより接近を
回避させる効果がある。テグスの高さや方向
を変えてランダムに張る

いくつかの方法を組合せると効果が高まる。

「猟銃」による継続的な「捕獲・追払い」を行った上で、「ロケット花火」などで追払う。

定期的な「見回り」の時に、積極的に「ロケット花火」などを使って追払う。

「かかし」を設置する。 、 の対策と組合わせる。

カワウ被害が多い場所では、「釣り人」や「散歩する人」等、人の気配を高める。

カワウ対策のポイント

《その1》守るべき魚種・時期・場所を絞り込み、対策を集中させる

特に被害を防ぐべき魚種を特定する・・・・・・・・(例)アユ

被害を受けやすい時期を特定する・・・・・・・・放流・遡上・産卵時期

被害を受けやすい場所を特定する・・・・・・・・堰堤・魚道付近・産卵場所

効果的な対策を集中的に行う・・・・・・・・ネットやテグスの設置

《その2》いくつかの方法を組み合わせると効果が高まる

「猟銃」による有害捕獲を行った上で、「ロケット花火」を使う。

定期的な「見回り」のときに「ロケット花火」を使う。

「案山子(かかし)」を設置したら、定期的に「見回り」をする。

《その3》みんなで取り組む

人の気配のする水辺にする。

(例)「釣り人」・「散歩(散策)する人」など

【日野川水系漁協の取組事例】

アユが集まる場所には、ネットやテグスを設置する。

猟銃による有害捕獲（アユの漁期を除く）を行う。

漁協組合員が川を見回る時に、カワウやサギ類がいれば、「ロケット花火を発射する」・「パチンコを撃つ」・「缶を叩く」等の「追払い」を行う。

「見回り」の際には、狩猟者が着用する「ハンタージャケット」に似た服を着用する。

追払い用の「かかし」を設置する。「かかし」もハンタージャケットに似た服を着せる。



銃による捕獲・追払い



ロケット花火による追払い（日野川）



パチンコによる追払い（鉛弾は不使用、日野川）



一斗缶を用いた追払い（日野川）



かかし設置場所での追払い（米子市 日野川）

「人がこまめに見回ることが一番の対策」

2 繁殖地・ねぐらでの対策

繁殖地やねぐらで銃等による捕獲を行うと、カワウを分散させる可能性がある。

生息状況を考えながら、「繁殖抑制（個体数調整）」や「営巣妨害」を検討する。

営巣を防ぐ対策は、巣づくり前に行う。

繁殖が始まると、巣に執着するため対策が難しくなる。

営巣を防ぐための対策例 営巣場所を移動させるための対策

巣作り前に、営巣する木を伐採する。伐採できない場合は、高さ1～2m程度にできるだけ低く木を切る。（枝と幹などの木の又を残すとそこに巣を作る。）

営巣前にビニール紐等を営巣木に数本張る。

営巣を始めそうになったら、ロケット花火等による追払いを行う。



木の幹と枝の間に巣をつくるカワウ
（中海 萱島：島根県）



一つの巣で2～3羽の雛が育つ
（中海 萱島：島根県）

【他県の事例】

繁殖抑制(卵): 石けん水散布 (滋賀県など)

ドライアイスによる冷温処理、偽卵の置換え (山梨県)

営巣妨害 : 繁殖地へのロープ (ビニール紐) 張り (山梨県など)



卵への石けん水の散布 (滋賀県)



偽卵の置換え作業 (山梨県)



ドライアイスによる卵の冷却処理 (山梨県)



営巣前の営巣木へのロープ張り (山梨県)

(3) その他の対策

タケによるアユの隠れ場づくり (栃木県)

(写真提供)

山梨県・栃木県の事例: 山梨県水産技術センター

滋賀県の事例: 滋賀県環境保全課



タケによるアユの隠れ場づくり (栃木県)